

令和4年度 あおぞら 自立課題作成研修会



個別課題を作成する様子

<講師紹介>

西村 則子氏:
元県立特別支援学校校長
千葉県 TEACCH プログラム研究会顧問

高木 美枝子氏:
社会福祉法人ロザリオの聖母会
ロザリオ発達支援センターセンター長

三国 寛伸氏:
県立八日市場特別支援学校教諭
千葉県 TEACCH プログラム研究会広報担当

10月15日及び29日の2日間にわたり、就学前の療育や学校教育での指導・地域の方に対する相談業務など、幅広い領域における実践現場で経験豊富な3名の先生方をお招きし、法人内部研修を開催いたしました。

初めに西村先生より、自立課題とはそもそもどのようなものなのか、自閉症スペクトラム症の方の特性と関連させ、その基礎・基本に関するお話を伺いました。

また、各グループで対象者の方の特性(強みと弱み・興味関心などの情報)を整理し、これを踏まえ、実際に自立課題を協力し合って作成しました。皆でアイデアを出し合い、工夫を凝らして様々な素材・教材を活用し、複数の自立課題が完成しました。

完成後には実際に職員同士で体験し合い、先生方より助言をいただきました。どうすればもっと明確に課題の意図が伝わるか、支援者の指示やヒントがなくても自立して達成できるかなど、より改善に向けた視点について皆で深め、共有しました。

発達障害児者支援室室長 宮崎 義成

「児童発達支援センター わかば」から



児童発達支援センターわかばでは、理学療法士が運動療法の監修及び支援をしています。

活動内容は、ボールプール、サーキット、バルーン体操などお子さまに合わせて活動しています。

「運動……体を鍛えるだけ？」と思われる方も多いかと思いますが、実は、集中力、自信などにつながると言われています!! 運動を通して、様々な力を身に着けている子ども達の成長に職員一同寄り添っていきたいと思います。 センター長 富岡 美帆

ギャラリー展示会

日時 R5. 2/16 ~ 28

場所 飯岡駅ギャラリー【ふれあい館】

海上アルファー工房恒例のギャラリー展示会、今回は利用者さん個人の作品と内職資材の廃棄するモルを使った作品を出展させていただきました。さらに“進化し続けるオリジナルの世界観”、これからも応援してください。 副施設長 山崎 裕



あおぞら三崎



「みはなまるちゃんブロック運びリレー」完成

玉入れ「たくさん入ったよ」



関係施設長より「メダル贈呈」



絶対に
負けない!

秋空の下
ヨイ、ドン!



「フレ、フレ海上」(応援風景)

海上

リレー(利用者さん)



息をあわせて「大玉転がし」



リレー(職員)

ウサギさんの大きな
口めがけて、エイ!

お菓子食い競走



玉入れ



パクパク競走

空高く、跳べ!

希望塾



江ヶ崎



仮装(職員)して記念撮影「お疲れさま」



大縄跳び



いよいよ競技開始「緊張してます」

“あおぞら大運動会”(10・11月)
※皆さんの健闘ぶりをご覧ください!



10/29 グループホーム 障害者スポーツ大会

10/29(土)旭市体育館において、コロナ禍になってからはじめての障害者スポーツ大会が行われました。参加人数は職員を含め10名と制限があり、参加できなかったグループホーム利用者さんには申し訳なく思いました。競技種目は、カローリング・ボッチャの2種目でしたが、久しぶりのプレーに白熱する場面もあり、皆さん楽しんでいました。
施設長 飯田 潤子



新任職員紹介

利用者様お一人お一人に寄り添いながら、頑張ります。
どうぞよろしくお願いいたします。
(10月1日入社)



平野 千珠(支援員)

わからない事だらけでご迷惑をおかけしますが、利用者様一人一人に寄り添った支援を心がけていきたいと思っております。未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。
(11月1日入社)



長谷川 裕人(支援員)